

災害は少ない、

空気・食べ物おいしー！

やまがた 大好き！

転勤族の妻たちフリートークの会
七月の例会にお邪魔して、
山形の印象についてお聞きしました。

「転勤族の妻たちフリートークの会」は、お互いの話し合いの中から問題点や自分の生き方を見つけていこうという趣旨の会。発言は自由、「しゃべりたくない」もOK。自分が何を感じ何を思うかが大切で、人の話には反論しない。この会での話は外ではしゃべらない…ことを原則として、月に一度、山形市男女共同参画センター「ファアラ」で例会を開いています。

この日は8名の会員が集まってくれました。山形に住んで短い人で2年、もつとも長い人は10年を超えているとか。参加者の中には、今年の2月に宮城県に引っ越したものの、7月に転勤する仲間と最後に会いたいと、この日電車やバスを乗りついで参加したという人も。彼女が姿を見せたとき、「わあ、久しぶりー元気だった？」「よく来てくれたねー」歓声があがり、雨の中を遠くから足を運んでくれた仲間を迎えて大盛り上がりでした。
みなさんに日頃「やまがた」について感じていることなどをお聞きしました。

でもね。

こんなところ…〇(≧▽≦)〇
あんなところ…(´o`)
もっと好きになるかも！



「やまがたの
好きなところは？」

この問いにはすぐに声があがりました。

「食べ物がいしー」

「空気がきれい」

「景色がすばらしい」

「ただし、冬を除く」

「天災が少ない」「温泉がいー」

などなど。

「おいしいー」と絶賛されたものは、

- ・季節のくだもの
- ・米・そば・日本酒・山菜



「ここがちよつとね…
やまがた」

まず、「市内のバスの便が悪いこと
に困っています」と声があがりました。

「山形の人は市内の移動は自分の
車が当たり前で、車の運転免許
を持たない人などいないだろう

と思っっているよう。ファアラに
は1時間に1本しかないバスを
乗り継いで来ている。最終のバ
スが出るのも六時と早く、どう
にかならないのか？」



「ゴミ出しのマナーが悪い

「ここもすごいね！
やまがた」

山形の「ここがいいな」と思うこ
ろを訊いてみました。

- ・おおらかでまじめで、やさしい
人が多い
- ・3世代同居が多いと聞くが、家
族が協力しあって暮らしている
のは良いことだと思う
- ・一軒の家が広く大きい

山形の人、なんだかんだ
いって郷土愛が強いと
思う。みんな山形が大好き
という気持ちが伝わって
くる(^_^)



・光熱費が高い。特に水道料金は
大阪にいたころの約2倍の金額

- ・地元の人だけで固まることが多
く、転入者へ興味を示さない人
が多い
- ・買い物に行ってもコミュニケーション
シヨンがうまくとれない。値切っ
たりできない(話が弾まない)
- ・冬の雪かきや寒さ対策が大変
- ・子どもの医療費が高いのでは？
- ・シヨッピングが物足りない
- ・子どもの学校までの距離が長
い。10キロのかばんを背負って
片道3キロも歩く。自転車の許
可とか考慮してくれたらいいと
思う
- ・働いているお母さんたちは仕事
一筋で、自分磨きの時間が少な
いように見える
- ・他人の目を気にしすぎる人が多
いかな
- ・公民館の講座などをみると、30
代、50代を対象にしたものが少
ないようで残念

など、転勤族ならではのコメントが多
かった…。



・季節がはっきりしている。子ど
も達は山形に来てスキーができ
るようになった

**転勤族の妻たち
フリートークの会
会員募集中！**

「転勤族の妻たち フリー
トークの会」は、夫の転勤に
よって、見知らぬ地域社会
でまた一から自分の居場所
を作っていくかなければなら
ない妻たちが、山形での生
活中はもちろんのこと、こ
の先どこに引っ越しても自
分を見失うことなく、自信
を持って生きるためのサ
ポートを会員相互で行くこ
とを目的としています。

毎月1回山形市男女共同
参画センター「ファアラ」に
集まってのフリートークが
中心ですが、それ以外にも、
芋煮会、そば打ち体験など、
会員の皆さんの希望を重視
してプログラムを組んでい
ます。

○問い合わせ先
TEL/FAX
023-629-7122
代表 北村さん

(編集協力員 後藤 桂子)